

平成30年度 アート選奨受賞者

アート選奨

太田 竜介（富良野演劇工場工場長・NPO 法人ふらの演劇工房事務局長）	
生 年	1968 年
在住地	富良野市
略 歴	<p>岡山県出身。</p> <p>1993 年 4 月、富良野塾 10 期生脚本家志望として入塾。卒塾後、富良野塾公演の音響を担当の傍ら東京で劇団「DON'T DISTURB」「FICTION」などに演出・音響で参加。</p> <p>2000 年 4 月に富良野に移住し、富良野演劇工場の管理運営会社 NPO 法人ふらの演劇工場の照明・音響技術スタッフとして入社。</p> <p>2002 年より富良野演劇工場 工場長。</p> <p>2010 年より NPO 法人ふらの演劇工房事務局長を兼務。</p> <p>2001 年より富良野市民劇団の脚本・演出を行いながら、富良野演劇工場でのイベントプロデュースや、「表現とコミュニケーション」のワークショップ、「演劇によるまちづくり」の講演会を各地で行っている。演劇の手法を使い、子どもから大人までさまざまな人間が触れ合うことにより、コミュニケーション力豊かなまちづくりを目指している。</p> <p>2015 年 4 月より北海道立富良野高等学校「舞台創作科目」非常勤講師。</p> <p>近年、富良野塾 O B ユニット公演の鑑賞と、三浦綾子記念文学館、上富良野町の後藤純男美術館を巡る旭川発着のバスツアーを企画するなど芸術と観光のタイアップを実践している。</p>

特別賞〈K I 賞〉

(五十音順)

故 木原 久美子（株式会社らむれすー三角山放送局 代表取締役会長）	
享 年	67 歳（2019 年 1 月 2 日ご逝去）
略 歴	<p>1971 年、札幌テレビ放送（STV）株式会社に入社。以後、ラジオ制作ディレクターとして、数多くの気番組を数多く手掛ける。ラジオドキュメンタリーの分野でもその手腕を発揮し、民間放送連盟賞、放送文化基金賞、ギャラクシー賞、文化庁芸術作品賞など受賞歴多数。</p> <p>1991 年に STV を退社。ラジオ番組制作・イベントコンサート制作の会社『らむれす』を設立。ラジオ番組の制作や「廃校コンサート」など地域のイベント制作に活躍。</p> <p>1998 年にコミュニティ FM『三角山放送局』開局し、“超”地域密着ラジオとして信頼を集める。また、コミュニティ FM「ラジオニセコ」の開局に携わり局長を務める。</p> <p>北海道の高校放送作品コンクールの審査員を毎年務め、若者の指導にあたった。</p> <p>2013 年より、日本民間放送連盟賞審査員を務める。</p> <p>ピンクリボン活動や障がいのある人ない人いっしょに楽しむ発表会「いっしょにね！文化祭」など、コミュニティ放送局がやるべき地域活動を実践した。</p>

故 齊藤 征義（「田んぼ de ミュージカル」脚本担当・事務局長）	
享年	75 歳（2019 年 1 月 6 日ご逝去）
略歴	<p>帯広市出身。</p> <p>苫小牧東高を卒業後、苫小牧民報、総合商社山三ふじや（千歳）、千歳観光連盟、穂別町（現・むかわ町）役場で勤務。</p> <p>1999 年に詩集「コスモス海岸」で北海道詩人協会賞を受賞。</p> <p>宮沢賢治研究で知られる一方、穂別町で約 30 年にわたって様々な地域づくり活動に取り組んだ。中でも、映画監督の崔洋一さんの指導の下、「完成するまで葬式出すな」を合言葉に、旧穂別町（現むかわ町）のお年寄りが企画から撮影、出演、編集までこなした映画「田んぼ de ミュージカル」シリーズの全作品で脚本を担当し、事務局長も務めた。</p> <p>「田んぼ de ミュージカル」は、平成 16 年度の北海道地域文化選奨を受賞した。</p>